

防火戸用指定シーリング材(日本シーリング材工業会指定)  
建築用1成分脱オキシム型シリコンシーリング材 難燃性

# トスシール 84N

JSIA-007023  
F☆☆☆☆

トスシール84Nは、1成分形脱オキシム型の難燃性建築用シリコンシーリング材です。  
トスシール84Nは空気中の湿気により硬化するシーリング材ですが、硬化時に酢酸を放出しないので、金属などへの腐食の心配がほとんどありません。  
硬化後は一般のシリコンゴムと同様に耐候性、耐久性に優れています。さらに施工性、接着性に優れていますので、ガラス工事はもちろん、建築用に広くご使用いただけます。  
難燃性・発熱特性に優れており、防火戸用シーリング材として日本シーリング材工業会より指定されています。

## 特 長

- 難燃性に優れています。
- 1成分形で押出性が良く、施工が容易です。
- 金属に対する腐食性がほとんどありません。
- 接着性に優れ、各種部材に対し良好な接着性を示します。
- 耐候性に優れています。
- 耐熱性、耐寒性に優れています。

## 用 途

- 防火戸用指定シーリング材(日本シーリング材工業会指定)
- 難燃性を必要とする目地シール
- 網入ガラスのシール

## 特性例

### 一般特性

(JIS A 1439, K 6249, K 6251)

項 目	特性値
外観	ペースト状
密度 (23℃)	g/cm <sup>3</sup> 1.39
指触乾燥時間 (23℃)	min 15
押出し性 (5℃)	s 4
スランプ	mm 0
シート伸び(JIS 2号ダンベル)	% 770
シート引張強さ(JIS 2号ダンベル)	N/mm <sup>2</sup> 1.9
硬さ A型	23
プライマー使用の要否	要

## 硬化後の特性

(JIS A 1439)

項目		特性値
被着体		アルミ
50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	養生後	0.29
	加熱後(90°C, 14日)	0.26
	水浸せき後(23°C, 7日)	0.30
最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	養生後	0.88
	加熱後(90°C, 14日)	0.86
	水浸せき後(23°C, 7日)	0.90
最大荷重時の伸び %	養生後	470
	加熱後(90°C, 14日)	390
	水浸せき後(23°C, 7日)	520
破壊時の伸び %	養生後	500
	加熱後(90°C, 14日)	390
	水浸せき後(23°C, 7日)	550
凝集破壊率 %	養生後	100
	加熱後(90°C, 14日)	100
	水浸せき後(23°C, 7日)	100
耐久性		9030Gで異常なし

注) プライマー：トスプライムD使用

## 発熱特性

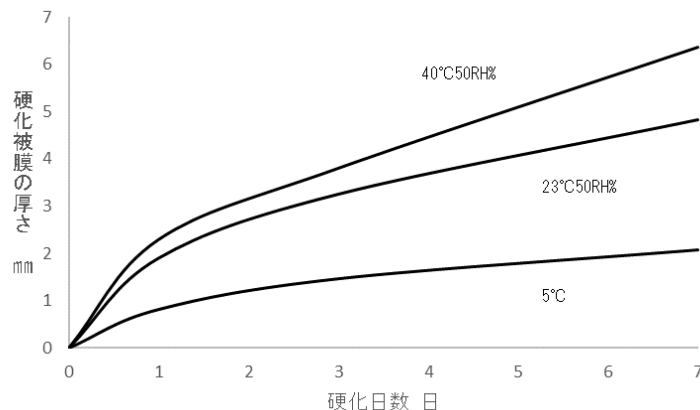
試験方法	トスシール84N	規定
旧昭和45年建設省告示 第1828号による基材試験	合格	着炎時間が100秒以上、かつ温度時間面積が 50°C・分以下であること

## 難燃性

項目	トスシール84N
酸素指数 (JIS K 7201)*	31%

注) \*：社内試験値

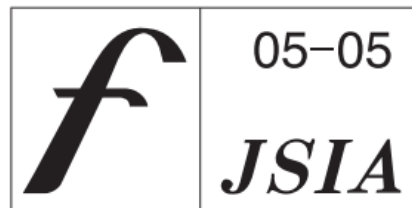
## 硬化性



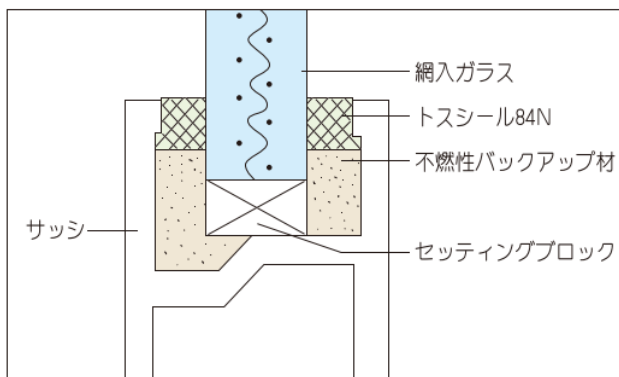
## 防火戸用指定シーリング材について

旧アルミニウム防火戸認定推進協議会の(通)第2号(アルミニウム製乙種防火戸)による通則認定を受けていた防火戸用のシーリング施工には、指定シーリング材を使用しなければなりません。この指定シーリング材とは、旧昭和45年建設省告示第1828号に規定する基材試験に準拠した試験を行い、発熱特性が規定の基準を満たしたものを日本シーリング材工業会が防火戸用シーリング材として指定したものです。

- トスシール84Nの指定シーリング材マークを右に示します。



- 目地の納まりの例



- 目地のバックアップ材には不燃性の材料を使用し、セッティングブロックのない部分にも隙間なく不燃性バックアップ材を装てんしてください。
- シーリング施工は建築工事共通仕様書、建築学会建築工事標準仕様書(JASS8、JASS17)等に準じて行ってください。

## プライマーの被着体別選択表

被着体		プライマー
モルタル・石材	モルタル*1	トスプライムC
	A L C	トスプライムC
	大理石*2	(トスプライムC)
	みかげ石	トスプライムC/トスプライムD
	スレート板	トスプライムC/トスプライムD
ガラス・陶器	ガラス	トスプライムD
	熱線反射ガラス	トスプライムD
	高性能熱線反射ガラス	トスプライムD
	タイル	トスプライムD
金属	アルミニウム	トスプライムD
	2次電解着色アルミニウム*3	トスプライムD
	ブリキ	トスプライムD
	トタン	トスプライムD
	軟鋼	トスプライムD
	ステンレス SUS 304	(トスプライムD)
プラスチック	FRP	(トスプライムD/YP9341)
	硬質塩ビ樹脂	トスプライムD/YP9341
	ポリカーボネート	—
	アクリル樹脂*4	(トスプライムD/YP9341)
	エポキシ樹脂	トスプライムD/YP9341
	メラミン樹脂	トスプライムD/YP9341
	フェノール樹脂	トスプライムD/YP9341
	ナイロン	トスプライムD/YP9341
A B S樹脂	トスプライムD/YP9341	

シーリング材	ポリサルファイド	(トスプライムD)
	トスシール361	無処理
	トスシール371	無処理
	トスシール381	無処理
ゴム	CR	(トスプライムニューF)
	NBR	(トスプライムニューF)
	SBR	(トスプライムニューF)
	EPR	(トスプライムニューF)
木材		(トスプライムC)

注) \*1：モルタルのはく離剤の種類により接着性が異なることがあり、確認試験が必要です。

\*2：大理石には、プライマー無処理では使用しないでください。染み出し汚染が発生することがあります。大理石への現時点での最良のプライマーはトスプライムCとなります。大理石につきましては接着が難しく、目粗し処理・洗浄した上でのプライマーの使用、接着性の事前確認をお願い致します。

\*3：封孔処理などにより接着性が異なることが予想されますので、必ず確認試験を行ってください。

\*4：下地の清掃には、ノルマルヘキサンを使用してください。また、事前にソルベントクラックの有無確認および接着性確認試験が必要です。

1) /で示したものは、共に効果がありますが一般には左側の製品を推奨します。

2) ( )内は、接着性能が不十分ですが現時点で最良のものです。

3) —は推奨できない組み合わせです。

なお、異種被着体の組み合わせで共通のプライマーがない場合(上表で)、必ずプライマーを塗り分けてください。

プライマーの選択には、十分な注意を払ってください。安全を期するために、そのつど接着性の確認試験を行ってください。

上記以外の被着体については、弊社にお問い合わせください。

### **施工手順および施工要領**

- 1) 目地形状、被着体の材質などを確認してください。
- 2) 被着面の汚れ(油分、ホコリなど)は、適当な溶剤で清掃した後、よく乾燥させてください。
- 3) バックアップ材は適正な形状の指定された材質のもの(防火戸用指定シーリング材(日本シーリング材工業会指定)として用いる場合には不燃性のもの)を用い、切れ目なく、かつ隙間がないように装てんしてください。
- 4) マスキングテープは、シーリング材専用のものを使用してください。

- 5) 被着体に適したプライマーを使用してください。塗布は当日施工分とし、塗布後30分以上(常温)のオープンタイム(乾燥時間)をとってください。
- 6) 目地形状に合わせて、ノズルを切断し、目地底部まで入るように押しつけて充てんします。充てん後、直ちにへらで押さえつけ、表面の仕上げを行います。
- 7) 仕上げ後は、すみやかに、マスキングテープを除去してください。また硬化するまではシーリング材に触れないでください。
- 8) シーリング材は全量使い切るようにしてください。使い残りが出た場合は、湿気を完全に遮断して保存してください。

### **使用上の注意**

- 未硬化のシーリング材は若干刺激性がありますので、目や口に入れないう、また、皮膚に長く付着したままにしないようご注意ください。
- 取扱い時には、保護眼鏡および必要に応じて保護手袋を着用してください。
- 換気のよい所で使用してください。
- 脱オキシム型シーリング材と脱アルコール型シーリング材が未硬化の状態共存すると、揮発成分によって共に変色することがありますので、必ず脱オキシム型を先打ちし、それが硬化してから脱アルコール型をお使いください(脱アルコール型を先打ちした場合、かなり硬化が進んでも、後打ちした脱オキシム型が変色することがあります)。
- 一部の合成ゴム(EPT、クロロプレンなど)と接触するとシーリング材が変色することがありますので、ご注意ください。

### **荷姿・梱包および色**

荷姿	容量	梱包	色	カラーサフィックス
カートリッジ	333ml	10本入り/1箱	ダークグレー	-G
			ライトグレー	-G 2
			ダークブラウン	-A 5
			ブラック	-B

### **保 管**

- 未開封のまま、直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 有効期間は、未開封・常温(5~25℃)保管で、製造後12ヵ月です。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

## 消防法

危険物非該当。消防法上、指定可燃物の可燃性固体類に該当するために、3,000kg以上保管する場合、届け出が必要です。

発行：2024年5月

改訂：2025年3月

---

・本製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合は、貴社にてその安全性を事前にご試験ご確認のうえご使用ください。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

・記載のデータは、弊社の試験方法による実測値の一例で、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するか必ずご確認願います。なお、本文中の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

・製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。

・安全性に関する詳細な情報につきましては、安全データシート(SDS)をご参照ください。

・本資料を転載される場合は、弊社までご連絡ください。

・仕様書を要求される場合は、営業を通してお求めください。

---



営業推進室  
東京本社(営業)  
大阪支店  
名古屋支店

TEL.03-5544-3111  
TEL.03-5544-3111(代) FAX.03-5544-3122  
TEL.06-6251-6272(代) FAX.06-6252-8255  
TEL.052-962-5731(代) FAX.052-962-5750